

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	近代アジアにおける水圏と社会経済—データベースと空間解析による新しい地域史の探求
研究代表者	城山 智子 (東京大学・大学院経済学研究科(経済学部)・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、従来のようにアジア地域史を「非ヨーロッパ」地域史と見たり、国民史の寄せ集めとする考え方を批判して、アジア地域に内在的な歴史発展を探ることによって、新たな地域史の構築を目指すものである。また、研究方法としては、「水圏」に注目し、その中での「自然環境・現象」「生産・生活」「移動・流通」に関する歴史的情報をデータベース化し、それに空間解析を加えて、「水圏」相互の比較や関係を探り、地域の史的特性を見いだそうとする斬新な方法を採用している。応募者らは皆優れた研究業績を有し、国際的にも活躍しており、顕著な研究成果が期待できる。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき研究であると判断した。</p>